注釈一覧　当カタログにて掲載している注釈の一覧です。

P19の注釈
※1[テスト条件]タイヤサイズ:225/45R18 95W XL／空気圧:250kPa／速度:60km/h／試験車両:クラウンRS 6AA-AZSH20-AEXRB 2500cc ハイブリッド 後輪駆動／試験路面:当社プルービング グラウンドの荒れたアスファルト舗装路/スムーズなアスファルト舗装路／音圧レベル:荒れたアスファルト舗装路(GR-XIII 62.26dBA、GR-XII 62.83dBA)/スムーズなアスファルト舗装路(GR-XIII 45.08dBA、GR-XII 45.43dBA)／計測方法:各々の路面を走行した時に発生するタイヤ音を測定。 騒音計で評価車両運転手の左耳近傍(助手席側)の音圧を計測。

＊音圧差での騒音エネルギー低減率の換算式は、騒音エネルギー低減率(%)＝$\left(\frac{1}{10^{\frac{\text{騒音}}{10}}}-1\right)\times100$

※2[テスト条件]タイヤサイズ: 225/45R18 95W XL ／試験荷重:4.69kN／空気圧:250kPa／速度:40km/h／試験方法:室内ドラム試験機のドラムに突起を固定して、上下軸力を測定／試験場所:当社技術センター室内ドラム試験機

P20の注釈
※3[テスト条件]タイヤサイズ:225/45R18 95W XL／準拠した試験名称:「自動車用タイヤの制動試験方法」(JATMA)／空気圧:250kpa／試験車両:クラウンRS 6AA-AZSH20-AEXRB 2500cc ハイブリッド 後輪駆動／初速度:80km/h／水深:2mm／路面の種類:アスファルト／ABS作動表示:ABS ON／停止距離(平均):GR-XIII 30.31m、GR-XII 34.73m

P21の注釈
※1[テスト条件]タイヤサイズ:REGNO GR-XIII TYPE RV　235/50R18 101V XL 、REGNO GR-XIII　235/50R18 101V XL ／空気圧:240kPa／試験車両:トヨタ アルファード 6AA-AYH30W 2490cc 2023年式 前輪駆動／試験距離:10000km／ローテーション:2500km走行毎に実施

P25の注釈
※1[テスト条件]タイヤサイズ:ALENZA LX200 235/60R18 107H XL、ALENZA LX100 235/60R18 103H／試験荷重:5.46kN／空気圧:230kPa／速度:40km/h／試験方法:室内ドラム試験機のドラムに突起を固定して、上下軸力を測定／試験場所:当社技術センター室内ドラム試験機
※2[テスト条件]タイヤサイズ:ALENZA LX200 235/60R18 107H XL、ALENZA LX100 235/60R18 103H／空気圧:フロント230kPa、リア230kPa／速度:60km/h／試験車両:レクサス NX350h 6AA-AAZH25 2487cc ハイブリッド 四輪駆動／試験路面:当社プルービング グラウンドの荒れたアスファルト舗装路／計測方法:荒れたアスファルト舗装路面(100m以上)を走行した時に発生するタイヤ音を測定。騒音計で評価車両運転手の左耳近傍(助手席側)の音圧を計測。

＊音圧差での騒音エネルギー低減率の換算式は、騒音エネルギー低減率(%)＝$\left(\frac{1}{10^{\frac{\text{騒音}}{10}}}-1\right)\times100$

※3[テスト条件]タイヤサイズ:ALENZA LX200 235/60R18 107H XL、ALENZA LX100 235/60R18 103H/準拠した試験名称:「自動車用タイヤの制動試験方法」(JATMA)／空気圧:フロント230kPa、リア230kPa／荷重:1名乗車相当／試験車両:レクサス NX350h 6AA-AAZH25 2487cc ハイブリッド 四輪駆動／初速度:80km/h／水深:2mm／路面の種類:アスファルト路面／ABS作動表示:ABS ON／停止距離(平均):LX200 31.01m、LX100 36.62m
※4[テスト条件]タイヤサイズ:225/65R17 102H／試験荷重:6.67kN／空気圧:210kPa／速度:80km/h／試験法の名称:フォース式／試験場所:当社技術センター室内ドラム試験機

P27の注釈
※1[テスト条件]タイヤサイズ:ALENZA 001　235/60R18 103W、DUELER H/P SPORT　235/60R18 103V／試験荷重:6.87ｋN／空気圧:210kPa／速度:80km/h／試験法の名称:フォース式／試験場所:当社技術センター室内ドラム試験機
※2[テスト条件]タイヤサイズ:ALENZA 001　235/60R18 103W、DUELER H/P SPORT　235/60R18 103V／空気圧:フロント240kPa・リア240kPa／試験車両:Q5 ABA-8RCNCF 1984cc フルタイム4WD／試験距離:8000km ／ローテーション:2000km走行毎に1回実施

P31の注釈
※1[テスト条件]タイヤサイズ:265/35R18 97W XL／空気圧:200kPa／試験車両:トヨタ　GR86　3BA-ZN8　2400cc　後輪駆動／試験場:筑波サーキット　コース2000／ドライバー:当社委託プロドライバー
※2[テスト条件]タイヤサイズ:265/35R18 97W XL／空気圧:280kPa／試験車両:スバル　BRZ　DBA-ZC6　2000cc　後輪駆動／試験場:筑波サーキット　コース2000／路面の種類:アスファルト(散水)／ドライバー:当社委託プロドライバー
テスト車両はサーキット走行用の車両であり、レース使用時の空気圧に合わせております。

P33の注釈
※1[テスト条件] タイヤサイズ:245/40R18 97Y XL／空気圧:240kPa／試験車両:BMW 328i DBA-3A20 2000cc 後輪駆動／試験場:当社プルービンググラウンド ドライコース／ドライバー:社内テストドライバー
※2[テスト条件]タイヤサイズ:245/40R18 97Y XL／空気圧:240kPa／試験車両:BMW 328i DBA-3A20 2000cc 後輪駆動／初速度:80km/h／水深:1mm／路面の種類:アスファルト／ABS作動表示:ABS ON／停止距離(平均):S007A 25.89m、S001 26.50m

P35の注釈
※1[テスト条件]タイヤサイズ:225/40R18 92Y XL／準拠した試験名称:「自動車用タイヤの制動試験方法」(JATMA)／空気圧:フロント250kPa、リア250kPa／荷重:2名乗車相当／試験車両:ゴルフ8GTI　3BA-CDDNP・2022 1984cc 前輪駆動／初速度:100km/h／路面の種類:アスファルト路面／ABS作動表示:ABS ON／停止距離: (RE005)37.74m、(RE004)39.93m
※2[テスト条件]タイヤサイズ:225/40R18 92Y XL／準拠した試験名称:「自動車用タイヤの制動試験方法」(JATMA)／空気圧:フロント250kPa、リア250kPa／荷重:1名乗車相当／試験車両:ゴルフ8GTI　3BA-CDDNP・2022 1984cc 前輪駆動／初速度:80km/h／水深:2mm／路面の種類:アスファルト路面／ABS作動表示:ABS ON／停止距離: (RE005)26.27m、(RE004)28.97m
※3[テスト条件]タイヤサイズ:225/40R18 92Y XL／試験荷重:4.94kN／空気圧:250kPa／速度:80km/h／試験法の名称:フォース式／試験場所:当社技術センター室内ドラム試験機

P37の注釈
※1[テスト条件]ノーマルタイヤ(POTENZA S001):245/40R18 97Y XL　従来のランフラットテクノロジー採用タイヤ(POTENZA RE050 RFT):245/40RF18 93W　POTENZA S001 RFT:245/40RF18 93W　試験荷重:4.71kN　空気圧:240kPa　試験法の名称:静的荷重特性試験　試験場所:当社技術センター室内試験機

P41の注釈
※1[テスト条件]タイヤサイズ:FINESSA HB01 195/60R17 90H、ECOPIA NH200 195/60R17 90H／準拠した試験名称:「自動車用タイヤの制動試験方法」(JATMA)／空気圧:フロント250kPa／リア240kPa／荷重:1名乗車相当／試験車両:トヨタ プリウス 6AA-MXWH60 1986cc ハイブリッド 2023年式 前輪駆動／初速度:80km/h／水深:2mm／路面の種類:アスファルト路面／ABS作動表示:ABS ON／停止距離:【新品時(走行0km(※))】FINESSA HB01 28.97m、ECOPIA NH200 33.68m
※2[テスト条件]タイヤサイズ:FINESSA HB01 195/60R17 90H、ECOPIA NH200 195/60R17 90H／準拠した試験名称:「自動車用タイヤの制動試験方法」(JATMA)／空気圧:フロント250kPa／リア240kPa／荷重:1名乗車相当／試験車両:トヨタ プリウス 6AA-MXWH60 1986cc ハイブリッド 2023年式 前輪駆動／初速度:80km/h／水深:2mm／路面の種類:アスファルト路面／ABS作動表示:ABS ON／停止距離:【新品時(走行0km(※))】FINESSA HB01 28.97m【摩耗品(20,000km走行相当(※))】FINESSA HB01 29.76m、ECOPIA NH200 34.96m
(※)20,000km走行相当品は下記のタイヤを使用
FINESSA HB01:タイヤを39%パフし20,000km走行を再現(溝深さは5.0mm)ECOPIA NH200:タイヤを38%パフし20,000km走行を再現(溝深さは5.1mm)

P42の注釈
※3[テスト条件]タイヤサイズ:FINESSA HB01 195/60R17 90H、ECOPIA NH200 195/60R17 90H／空気圧:フロント250kPa、リア240kPa／速度:60km/h／試験車両:当社プルービング グラウンドのスムーズなアスファルト舗装路／計測方法:スムーズなアスファルト舗装路面(100m以上)を走行した時に発生するタイヤ音を測定。騒音計で評価車両運転手の左耳近傍(助手席側)の音圧を計測。

＊音圧差での騒音エネルギー低減率の換算式は、騒音エネルギー低減率(%)＝$\left(\frac{1}{10^{\frac{\text{騒音}}{10}}}-1\right)\times100$

P43の注釈
※1[テスト条件]タイヤサイズ:195/65R15　91H／空気圧:フロント240kpa・リア240kpa／試験車両:トヨタ ノア DBA-ZRR80G 2000cc 前輪駆動／初速度:80km/h／水深:2mm／路面の種類:アスファルト／ABS作動表示:ABS ON／停止距離(平均):Playz PX-RVⅡ 26.30m、Playz PX-RV 27.53m
※2[テスト条件]タイヤサイズ:195/65R15 91H／空気圧:240kPa／試験車両:トヨタ ノア DBA-ZRR80G 2000cc 前輪駆動／試験距離:8000km／ローテーション:2000km走行毎に1回実施

P46の注釈
※1[テスト条件]タイヤサイズ:R710　145/80R12 80/78N、R680　145R12 6PR／空気圧:フロント260kPa・リア350kPa／試験車両:ピクシスバン　EBD-S321M　658cc　後輪駆動／試験距離:8000km ／ローテーション:2000km走行時に1回実施
※2[テスト条件]タイヤサイズ:ECOPIA R710　145/80R12 80/78N、ECOPIA R680　145R12 6PR／試験荷重:4.41kN／空気圧:350kPa／試験速度:100km/h／試験場所:当社技術センター室内のタイヤ動的接地面解析装置／試験方法:室内ドラム試験機上でタイヤを転動し、タイヤ接地面に発生する接地圧を計測
※3[テスト条件]タイヤサイズ:R710　145/80R12 80/78N、R680　145R12 6PR／試験荷重:3.75ｋN／空気圧:350kPa／速度:80km/h／試験法の名称:フォース式／試験場所:当社技術センター室内ドラム試験機
※4[テスト条件]タイヤサイズ:R710　145/80R12 80/78N、R680　145R12 6PR／空気圧:フロント260kPa・リア350kPa／試験車両:ハイゼットカーゴ　EBD-S321V-ZRRF　658cc　後輪駆動／初速度:80km/h／水深:2mm／路面の種類:アスファルト／ABS作動表示:ABS ON／停止距離(平均):ECOPIA R680　33.4m、ECOPIA R710　33.5m

P49の注釈
※1[テスト条件]タイヤサイズ:205/85R16　117/115N/空気圧:フロント600kPa／リア 600kPa／試験車両:いすゞ エルフ 2,990cc 2RG-NMR88AN 5年式　後輪駆動/装着方法:同一車両内の左右それぞれにM812ⅡとM812を装着し、タイヤ装着位置間差是正のため1,500km走行毎に2回、2,500km走行毎に3回の左右ローテーションを実施／比較方法:装着タイヤの平均推定摩耗ライフ比較(残1.6mmで計算)／試験距離:13,000km／試験リム:16×5.5J
※2[テスト条件]タイヤサイズ:205/85R16 117/115N(ECOPIA M812Ⅱ)　205/85R16 117/115L(ECOPIA M812)／試験荷重:10.71kN／空気圧:600kPa／速度:80km/h／試験法の名称フォース式／試験場所:当社技術センター室内ドラム試験機
※3[テスト条件]タイヤサイズ:205/85R16 117/115N/空気圧:フロント600kPa／リア 550kPa／試験車両:日野デュトロ 2RG-XZU712M／水深:2mm／路面の種類:アスファルト／ABS作動表示:ABS ON／停止距離(平均):ECOPIA M812　13.20m ECOPIA M812Ⅱ 12.20m
※4 転がり抵抗試験　室内ドラム試験機による計測、タイヤに一定の荷重を負荷し、一定の速度のもとに回転する時の接地面に発生する進行方向の抵抗値を測定。[テスト条件]タイヤサイズ:195/75R15 109/107N／リム:15×5½J／空気圧:600kPa／荷重:8.59kN／速度:80km/h　転がり抵抗係数(RRC)の結果は、R214:55.6×10^{-4}、R201:63.1×10^{-4}です。 ●タイヤ転がり抵抗の低減率は、車両実燃費の向上率とは異なります。

P50の注釈
※1[テスト条件]タイヤサイズ:195/75R15 109/107N(DURAVIS M807)　195/75R15 109/107L(DURAVIS M804)／空気圧:フロント600kPa／リア 600kPa／試験車両:いすゞ エルフ 2,990cc 2RG-NLR88AN 5年式 後輪駆動/装着方法:各車両にM807とM804を装着し、2,500km走行毎に計7回の左右ローテーションを実施／比較方法:装着タイヤの平均推定摩耗ライフ比較(残1.6mmで計算)／試験距離:20,000km／試験リム:15×5J
※2[テスト条件]タイヤサイズ:195/75R15 109/107N(DURAVIS M807)　195/75R15 109/107L(DURAVIS M804)／試験荷重:8.59kN／空気圧:600kPa／速度:80km/h／試験法の名称:フォース式／試験場所:当社技術センター室内ドラム試験機
※3[テスト条件]タイヤサイズ:195/75R15 109/107N(DURAVIS M807)　195/75R15 109/107L(DURAVIS M804)／試験場所:当社プルービンググラウンド／試験路面:ウェット鉄板路／試験車両:いすゞ エルフ2tフルフラットロー TRG-NLR85AN／車両制御:ASR作動あり／テストドライバー:社内テストドライバー／試験リム:15×5J／空気圧:フロント600kPa／リア 400kPa／積載率:0%／試験方法:初速5km/hから加速し、速度20km/hに至るまでの時間を比較。
※4[テスト条件]タイヤサイズ:タイヤサイズ:195/75R15 109/107N(DURAVIS M807)、195/75R15 109/107L(DURAVIS M804)／空気圧:フロント600kPa／リア600kPa／試験車両:いすゞ エルフ 2,990cc 2RG-NLR88AN 5年式 後輪駆動／装着方法:各車両にM807とM804を装着し、2,500km走行毎に計7回の左右ローテーションを実施／比較方法:装着タイヤの平均推定摩耗ライフ比較(残1.6mmで計算)／試験距離:20,000km／試験リム:15×5J

※上記テスト条件に関するさらに詳細なデータについてはタイヤ公正取引協議会に届けてあります。
※試験結果はあくまでもテスト値であり運転の仕方によっては異なります。

ULTIMAT EYE®(アルティメット アイ)とは

タイヤに求められる性能を最大限に高めるブリヂストン独自の徹底したシミュレート&計測技術。

タイヤ開発時にシミュレーションとタイヤの現物の計測を繰り返し行うことで、タイヤ解析のさらなる精度向上を図ります。

シミュレーション・設計

タイヤの開発にあたり、コンピュータでさまざまなシミュレーションを実施。
計算上、最適なタイヤを設計しプロトタイプ(試作)を製作。

ウェット路面想定

雪路面想定

繰り返し実施
プロトタイプを計測
フィードバック
繰り返し実施

新タイヤ計測技術

シミュレーションだけでは分からない実際の性能を確認するため、実走行状態での動的なタイヤの挙動を再現し可視化。
ブリヂストンの独自技術です。

トレッドパタンの接地力分布の計測・可視化技術の開発により、従来では分からなかった高速回転時のパタン細部の効きまで計測が可能に。

高速回転タイヤ計測技術

VAN/LIGHT TRUCK